









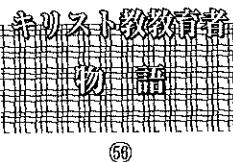
## 長崎のセツルメント事業の創始

活水女学校第2代校長

マリアナ・ヤング女史

活水女学校の創始者である初代校長エリザベス・ラッセル女史と、戦前の活水の最盛期を築いた第3代校長アンナ・ローラ・ホワイト女史の間にあって、第2代校長マリアナ・ヤング女史の功績は、ラッセル女史の創業の志を受け継いで、活水女学校の教育内容の高度化・高等女学校から大学部の設置と専門学校への道を準備し、ホワイト校長に引き渡すことになった。しかし、ヤング女史の本領は、後に「私立社会事業団水濱館」と呼ばれるセツルメント事業にあった。

マリアナ・ヤング女史は活水女学校校長を辞



56



(在任1897～1920・3)

任するとほぼ同時に長崎市大浦町に「水濱幼稚園」を設立する(1920)。これは長崎港で荷役作業に従事する貧しい婦人のために、その幼児を引き取って教育する施設であった。後に(1923)大浦海岸の旧ドイツ領事館跡を購入して、幼稚園と無料診療所を併設し、併せて教会婦人たちによる奉仕グループ「ドルカスクラブ」を組織して、本格的な貧民救済事業を展開することになる。「ドルカス」とは「使徒言行録」第9章36節以下に登場するヤッファ教会の献身的な婦人の名である。ヤング女史の始めた事業の財源は長崎市内のプロテスタント教会の獻金と、バザーによる婦人会の寄付によって賄われていた。

しかし、その事業は戦争によって中断を余儀なくされる(1942)。戦後、WFMS(海外婦人伝道協会)の援助によって再開され、「財團法人友愛社会館」に受け継がれることになる。

服部康喜

〈元活水女子大学教授〉

# 加盟校(104法人)学生・生徒・児童・教職員数

&lt;学生生徒児童数&gt; 2017年5月1日時点

(単位:人)

種別・グレード	校数	設置数	女	男	合計	総合計			
						女	男	合計	
大学	56		39	89,267	96,905	186,172	132,865	101,786	
			17	39,497	0	39,497			
			1	454	226	680			
			41	3,278	3,966	7,239			
			7	374	689	1,063			
短期大学 短期大学部	23		11	3,172	384	3,556	8,344	429	
			8	4,040	0	4,040			
			2	721	45	766			
			2	411	0	411			
			23	8,344	429	8,773			
短期大学・短期大学部 合計		79	141,209	102,215	243,424				
大学・短期大学・短期大学部 合計		9	9	649	542	1,191	649	542	
専門・各種学校	92		50	21,663	19,461	41,124	39,708	25,061	
			34	17,669	0	17,669			
			5	0	5,150	5,150			
			3	376	450	826			
高校	74		35	5,994	5,787	11,781	18,966	8,612	
			34	12,972	0	12,972			
			5	0	2,825	2,825			
高校・中学 合計		166	58,874	33,873	92,847				
中学	35		32	3,480	2,952	6,432	4,383	3,668	
			2	903	0	903			
			1	0	716	716			
小学校 合計		35	4,383	3,668	8,051				
総合計		289	289	204,915	140,098	345,013	204,915	140,098	
							345,013		

&lt;教員・専任職員数&gt; 2017年5月1日時点

(単位:人)

種別・グレード	教員数				合計	専任職員数		
	女	男	小計	非常勤		女	男	合計
法人	専任				23,307	295	446	741
	非常勤							
大学	専任	2,453	5,443	7,896	1,423	2,860	2,285	5,145
	非常勤	6,698	8,713	15,411				
短期大学	専任	247	188	435	462	38	16	54
	非常勤	576	412	988				
各種専門学校	専任	86	81	167	8,546	524	467	991
	非常勤	182	113	295		57	35	92
中学高校	専任	2,085	3,115	5,200	758	3,774	3,249	7,023
	非常勤	1,958	1,388	3,346				
小学校	専任	266	249	515	34,496	57	35	92
	非常勤	168	75	243				
総合計		14,719	19,777	14,213	20,283	34,496	3,774	3,249

註)法人本部と各グレードで兼任あり



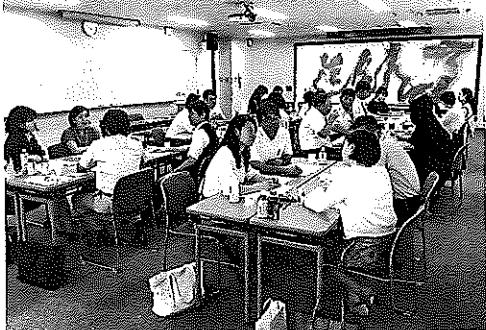
## 関西地区

(6面よりつづけ) その話を通じて、人生についての自分のことについて、思ひめぐらせることがありました。いつか生徒どもつてみたのです。「祈りあう」とこの大切さは理解できていませんが、改めて「隣の人のために祈ること」が通じたのです。いつか生徒どもが心を開いて、話あうと、リフレッシュになり、心を開いて、話あうと、思ひめぐらせることがありました。いつか生徒どもが心を開いて、話あうと、

校からの参加で、はじめてあります。教員達つまつたけれど、どんな言葉が与えられるだろうか

「福音と伝職と牧師で、自分たちも同じイエスの子どもたちです。」(桜美林中学校・高等学校チャーチ)

堂本陽子



聖書研究集会

## 第59回夏期研修会

キリスト教主義学校における異宗教間対話と宗教間連携の可能性

「少し休んだら、また行きなさい」

## 第56回カウンセリング夏期合宿研修会

夏期研修会  
第59回夏期研修会  
学校における異宗教間対話と宗教間連携の可能性  
講演者: 松山大耕氏  
司会: 岩瀬妙心寺退院副住職  
お寺の皇子である私が、年明けには神社に初詣をすることがあります。

「少し休んだら、また行きなさい」

「カトリックの中高で学ばれた松山氏。違う場所(違う宗教)に身をおくことで、自分のアイデンティティ(信仰)が明確となり、(教育の中で)指行つて一年の幸せを感じます。」

この世に生まれて神形となって、また時代の変化に伴って発展していく「トータルセッション」。その内容は、その中の「キリスト教学校における異宗教間対話と宗教間連携の可能性」でした。つまり、それまでの「日本式」を乗り越えて、「カトリック式」を見出されたり、「キリスト教のクリスチヤン」は、キリスト教学校に生きていたのです。そこで、その時代における異宗教間対話と宗教間連携の可能性」というふうに語られた。それが、その年のテーマであり、「カーデン・パレスで開催された。主題は「キリスト教の講演會で松山大耕氏が語った。」

「日本の宗派の特徴は、日本によくある習慣で、不規則に思われるが、実はこのようないいふのなかで、不規則に思われるが、実はこのよ

ういふのなかで、不規則に思われるが、実はこのよ

ういふのなかで、不規則に思われるが、実はこのよ

ういふのなかで、不規則に思われるが、実はこのよ

ういふのなかで、不規則に思われるが、実はこのよ

ういふのなかで、不規則に思われるが、実はこのよ

の話を通じて、人生についての自分のことについて、思ひめぐらせることがありました。いつか生徒どもが心を開いて、話あうと、リフレッシュになり、心を開いて、話あうと、思ひめぐらせることがありました。いつか生徒どもが心を開いて、話あうと、

心を開いて、話あうと、それが改めて「隣の人のために祈ること」が通じたのです。いつか生徒どもが心を開いて、話あうと、



福島旭氏による「カウンセリング夏期合宿研修会」に於ける行動療法入門・発達障がい者との接遇についての講義を行いました。

講義では、行動療法入門・発達障がい者との接遇についての基礎知識や実践的なアプローチ法などを学びました。

また、行動療法入門・発達障がい者との接遇についての実践的なアプローチ法などを学びました。

最後に、行動療法入門・発達障がい者との接遇についての実践的なアプローチ法などを学びました。

